

仙台市天文台自己評価シート（2020—2022年度）

資料 4-2

ミッション		業務別目的		
マ イ ン ド ・ ア イ デ ン テ イ テ イ	宇宙を身近に 質の高い天文情報 を、身の回りのもの ごとと関連づけて示 し、生きた対話を生 み出します	ビ ヘ イ ビ ア ・ ア イ デ ン テ イ テ イ 【天文観測】 市民の「宇宙を観る眼」となります 様々な観測や天文に関する科学情報の 収集活動を行います。新鮮な情報提供 ができるように常に最新の情報を集め ることで、天文台の諸活動を支えます 【調査研究】 市民にとっての「宇宙の魅力」を引き 出します 天文情報の提供方法、表現手段などの 研究を行います。これらの研究に基づ いて、誰にでも分かりやすく科学情報 を編集加工し、新しい天文科学体験を 開発していきます 【教育普及】 市民を「宇宙の世界」へと誘います 幅広い間口を持った多様なサイエン ス・コミュニケーションを用意しま す。また、接客ホスピタリティも高 め、心地よい利用体験を提供してい きます 施設のミッションを視覚的に表現し、市民 の日常と宇宙を結びます	観測 研究	・天体データを取得し、科学的な考察を加えた結果を公開する ・天文学に深く関わる人材を育成する
			学校 教育	・様々な対象者に合った手法や内容で、各教育現場で学習する天文分野の内容の理解が深まるよう支援する
			生涯 学習	・宇宙・天文分野への関心が高い市民が、各々の得意分野を活かした天文普及活動を積極的に提案・実施できる環境を整える
			展示	・様々な観測や天文に関する科学情報を分かりやすく編集・加工し表現する ・宇宙に関する多様なテーマで市民と交流し天文への理解を深める
			プラネタ リウム	・星空や宇宙の疑似体験を通して天文への理解を深める ・市民ニーズに対応した多様なプログラムを企画し、多くの市民に宇宙の魅力を伝える
			望遠鏡	・市民ニーズに合わせたリアルを味わえる天体の観望・観察体験の場を提供する
			アウト リーチ 活動	・施設内に留まらず、施設外の多くの市民に、宇宙・天文の魅力を届ける
			大学・ 関係機 関連携	・連携機関と協力し様々な専門分野の切り口からの話題を提供する ・大学や研究機関と協力し最新の研究成果を提供する
			天文情 報提供	・時宜をとらえた天文事象の資料や情報を提供する ・最新の天文学の情報を分かりやすく提供する ・市民の天文に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う
			資料 収集	・天文学的に貴重な天体や現象を記録する
			活用 促進	・市民の幅広い興味に応える体験と情報を届け、施設のにぎわいづくりを推進する
			広報	・各業務と連携し、多様な情報をタイムリーに分かりやすく市民に届ける
			窓口	・来館者とのコミュニケーションを重視し、宇宙・天文に親しみやすい環境づくりに努める
メデ ィア 制作	・ビジュアル・アイデンティティを活用し、一貫した情報発信を行う			

ビジョン（2020—2022年度）		目標	評価指標	目標値	
WAをひろげよう	A 市民による活動または市民との活動の“輪”をひろげます	1	・サポーター制度の拡充	a.スタッフサポーターの活動内容の新規企画数 b.ファンサポーターの登録数 c.オーナーサポーターの新規登録数，継続割合	a. 5件/3年 b. 250名/年 c. 新規登録5件/年 継続率80%/各年
		2	・アウトリーチ活動の強化	a.館外活動（移動天文台以外）の件数 b.移動天文台の新規訪問件数	a.15件/年 b.8件/年
		3	・教育支援活動の拡大	a.学校現場との新規の連携事業実施数	a.5件/3年
		4	・市民による観測・観察活動への支援	a.市民観測員数 b.観察室ユーザーの満足度 c.市民による観測・観察結果の公開数 d.市民提供資料の活用数	a.3名/3年 b.10%増/3年 (2019年度を基準に測定) c.3件/年 d.6件/年
		5	・大学や関係機関との連携強化	a.新規連携事業件数	a.5件/3年
		6	・市民企画による多様な催しの開催	a.実施件数	a.12件/年
		7	・地域住民や団体との連携強化	a.地域住民や団体と連携した新規取組み件数	a.2件/年
		8	・SNS活用によるファンの拡大	a.各SNSフォロワー数	a.20%増/3年（2019年度を基準に測定）

仙台市天文台自己評価シート（2020—2022年度）

資料 4-2

ミッション		業務別目的			
WAをひろげよう	B 市民が来やすく居やすい施設を目指し, "環"境整備に努めます	9	・カフェ等の設置による飲食の充実	a.飲食を提供するための取組み状況	a.来館者の平均滞在時間の増加（2020年度を基準に測定）
		10	・交通アクセスの改善	a.交通アクセス改善のための取組み状況	
		11	・施設内の快適性の向上	a.快適性を向上するための取組み状況	
		12	・多様な来館者の受入れ強化	a.ユニバーサルデザインへの取組み件数	a.10件/3年
		13	・親子の来館促進	a.親子の来館を促進するための取組み件数 b.幼児の来館者数	a.3件/年 b.幼児の来館者数の増加（2019年を基準に測定）
		14	・再来館の促進	a.年間パスポートの加入者数 b.顧客ロイヤリティの測定	a.600件/年 b.NPSの増加（2020年度を基準に測定）
	C エクスペリエンス"サークル"により,市民の宇宙・天文への興味を深化させます	15	・展示・プラネタリウム・望遠鏡等の各ゾーンを総合的に活用した活動の推進	a.プログラムの開発数 b.スタッフによる実践レポート	a.2件/年 b.1件/年